

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年5月21日

事業所番号	2772402745	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 うらら	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
事業所名	グループホーム うららの家	評価調査日	平成 20 年 5 月 17 日
所在地	大阪府枚方市村野東町10-35 電話072-805-5660	評価確定日	平成 20 年 5 月 24 日

【情報提供票より】 (平成20年4月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9 人
職員数	16	常勤	3 人
		非常勤	13 人
		常勤換算	9.19 人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 造り 2 階建ての 2 階部分
-------	-----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4万~4万5千円	その他の経費 (月額 1万5千円)
敷金	無	
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 15万円	償却有返金1ヶ月以内全額 2ヶ月以内10万 3月以内 5万円、3月以上 なし
食材料費	朝食	300 円
	昼食	400 円
	夕食	400 円
	または1月当たり	おやつ 200 円 39,000 円

(4) 利用者の概要 (12月22日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	0 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	1 名		
年齢 平均	85 才	最低	75 才	最高	90 才
(5) 協力医療機関名	西井内科クリニック 銭谷歯科 いけだ歯科クリニック				

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

利用者には、入所前と同じような家庭環境、及び、尊厳と自立の支援とを理念として、運営者自身が24時間、努力をしている。そして、併設の訪問介護の機能も活かし、日常生活の中での健康維持の支援が細かな配慮で行われております。中でも典型的な例として、胃ろうを造設されている利用者に対して、医師に指導のもとで看護師、職員一同で手厚い介護を行い、ご本人は明るい生活を続けている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営推進会議は漸く、5月25日に第1回が開催されることになっている、過去2年間は内部の管理体制が整わず、運営者は重荷を負って来たが、最近の1年間に内部管理の体制が整いつつある。また職員の研修について運営者が、積極的に外部研修にも参加させており、災害対策についても、2階非常口のドアは、引き戸に改善され、利用者の待機場所も準備している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者と計画作成者との連携のもと、職員との協議、検討を行って自己評価票が作成された。運営者の昼夜を分かたない努力が職員全体の士気を高め、利用者の毎日の生活を、その人らしさのペースで楽しんでもらっている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は、第1回がこの5月25日に開催されることになったが、運営者は地域包括センターの支援を受けながら、今後は定期的開催を実施し、出席者の提案や助言を得てホームのレベルアップを図りたいと願っている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	運営者が24時間に涉ってホームとの関係を持って運営しているので、ご家族が来訪された場合も、運営者が直接、受け答えをしている。職員も開設以来の常勤職員が主力として介護に当たってをり、面識もあるので対話が良くできている。特に、ご家族との面談のなかで、介護のヒントを頂くことが多くあるので重視している
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営者の住居がホームから至近の距離にあるので、地元の方々との交流は自然に出来ている。そして盆踊りの日に、ホームでは夏祭りを開催し、招待券を配布して子供さんを中心として来所を促し、楽しんで頂いている。今後については、運営推進会議が開催されることになっているので、地域の方々との交流を図り、ホームの介護レベルアップが期待されている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の方々の人格の尊重、家庭的環境と、心豊かに生活を送れるようにとの理念を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者は、管理者として日々、理念の実践と職員の指導に当たっている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者の自宅がホームの近隣にあるので、地元の方々との交流は自然に行われている。現在は地元の盆踊りでの交流ができていますが、運営推進会議開催に伴って、より深くなることを期待されている	○	地元の自治会とは行事等によって交流ができていますが、自治会組織の方々とも、広く交流が進められるよう期待したい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者は、この評価が日々の実践の中から、反省、見直し検討をすることによって、介護の改善に期待している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営者は開設以来、ホームの管理体制の確立に努力をして来たが、最近になって漸く、管理体制が機能し始めた。運営推進会議の開催によって介護の更なる向上を期待している	○	運営推進会議の参加者によって、ご意見、ご提案等を頂き、より介護のレベルアップに繋がることを期待します
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	シルバー人材センターの研修を受け入て、地域高齢者の活性化のお手伝いをし、又、中学校の職業体験を受け入れ、世代交流を図っている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	月一回は必ず来訪して頂くようにしており、その際に、運営者をはじめ職員は、利用者の心身状態、日常の様子を伝えている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営者が、ご家族からの提案、苦情等があれば、すぐに改善の処置をとっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新入の職員には、既存の職員が付き添って馴染みやすいように配慮し、利用者の不安を最少にするようにしている		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術を日々の介護の中で指導している。外部研修への参加には、勤務に支障を来さないように配慮をして、応援している	○	全ての課題を運営者が行うのを、徐々に職員の分担となるように配慮して、育成を期待します
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム同士の交流会を通じて、他のホームとの情報交換が来ている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	十分な説明を心がけている上で、ご家族共々の見学、体験宿泊もしてもらっている		
--	-------	--	---------------------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長い人生を歩んできた先輩として敬意を忘れず、節度ある親しみの感情を持って接している。基本的に、高齢の方から学ぶという姿勢をとっている。		
--	-------	---	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	人と話し合いたい方、反対に一人で居たい方等、一人ひとりに対応している。		
--	-------	---	-------------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	運営者、計画担当者と職員とで、またはケースによっては、ご家族、医師も交えて現状を話し合い、新たな計画作成を行っている		
--	-------	--	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者の現状把握はよく出来ているが、それらを集約した記録が出来ていない		全職員の共通の情報として利用できるような態勢を準備中
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者やご家族の要望に応じて支援している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	入所後も、以前からの医師の診察を受けて頂いている。病状によっては専門的な医師を、嘱託医師の紹介によって受診している		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合でも本人、ご家族、医師との話し合いをして、全員一致で方針を決めており、職員も方針を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	丁寧な言葉遣いを忘れぬように、職員に対し日常的に注意している。また、個人記録の取扱いについても、細心の注意を払うようにしている。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム側の都合ではなく、出来るだけ一人ひとりの希望に沿った支援を行っている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	煮炊きの前の食材の準備の手伝いや片付けなど、出来る方にとって頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		出来る限り要望に沿った入浴をしてもらっている。

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		一人ひとりの個性に合わせた楽しみ事をしてもらっている。例えば、トランプのリードできる方、塗り絵に熱中する方、ナツメロを歌う方等、特技を持った方々で楽しんでもらっている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		出来るだけ外出の希望に応じられるように支援している。時には、空駐車スペースで日向ボッコ、水遊びもしている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		日中は玄関、居室とも鍵掛けは行っていない。しかし、利用者の行動はよく見守っている。
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		緊急の避難方法、避難時の待機場所の確保で職員の訓練はしている。2階の非常出口のドアは、引き戸に改善済みである

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事、水分の摂取量のチェックは出来ている
--	----	----	---	--	----------------------

女性は「お茶を飲まないとお肌になりやすい」と言葉掛けをすると、良く飲んでくれるとのこと

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		季節感のある折り紙、貼り絵や消臭剤の適時使用、拭き掃除等に配慮がされている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		各自が、適宜に道具類を持ち込んでおり、仏壇、神棚を置いている利用者も居る